

東京片貝会報

発行 東京片貝会
埼玉県新座市栄1-5-5
(〒352-0014) 阿部修次
電話 0484-78-4494

第42回 東京片貝会総会御案内

期日 平成13年7月1日(日)午後一時
会場 池袋 かんぽヘルスプラザ東京

故郷の桜も終わり、初夏の候となりました。皆様には、健やかに過ごしのことを存じます。

第42回の総会を、左記の通り開催致します。

本年も郷里から、お客様をお招きして、「故郷の話」を、片貝弁で話合おうではありませんか。皆で近況を語り合い、楽しい一日を過ごしましょう。お友達を誘いあつて、どうぞ多数ご参加下さいますよう、ご案内申し上げます。

記

- 一、日時 平成13年7月1日(日)午後一時(正午より受付)
 - 一、会場 かんぽヘルスプラザ東京(案内図参照下さい。)
 - 一、会費 東京都豊島区池袋4-17-17 ☎03(5952)6881
 - 一、会費 七、〇〇〇円
- お願い 返信は6月20日(水)までに届くようお願い致します。

東京片貝会 会費

会費は、年二〇〇〇円とさせていただきます。会報と同封されます郵便振込用紙、または新年会、総会で納入をお願いします。母校を励ます会の支援は、三面をご参照下さい。

かんぽヘルスプラザ・東京への案内図



今年の冬は、

雪がゴウギだったて!

故郷片貝の冬は、ここ15年程暖冬少雪が続いていた。今年も、久しぶりの大雪で、特に1/15、1/19にかけて、ピーク時は、六メートルも積もった。

昔の56豪雪、61豪雪に比べれば少ない量であるが、少雪の慣れのためか、雪降ろしや対策で混乱をきたしたとのことである。

片貝中学校の、ホームページ(前号会報で紹介)に、生徒さんの作品「片中冬の風景写真」が載っている。

雪の中、頑張って撮影された写真の一部を紹介する。



校舍は変わっているが、雪の風景には懐かしい故郷の思い出が重なる。写真の掲揚塔は、東京片貝より3名出席

会の動き

理事会 12/3
於：かんぽヘルスプラザ 阿部会長以下22名
一年の総括と新年会の話し合い。

県人会新年会 1/27
於：赤坂プリンスホテル 出席者 阿部会長 黒崎副会長 藤塚励ます会会長

新年会 1/28
於：かんぽヘルスプラザ 出席 78名(前日大雪のため、当日欠席者多数。)

理事会 3/18
於：かんぽヘルスプラザ 阿部会長以下15名
新年会の反省・じよんのび会・総会の話し合い。

じよんのび会 4/14、15
於：熱海温泉 参加者 9名
三面を参照下さい。



春蘭

貝会が、中学校の創立50周年記念事業として寄贈したものである。



掲揚塔は、「災害が起きた時に集まる場所」との説明文があり、町のシンボルとして活躍しており、会員にとって嬉しい報告である。

小千谷市の積雪量では、片貝地区は少ない方で、最も多い所は「大崩」で、二メートルを記録した。除雪も昔の手掘りと異なり、機械除雪が多く、市の予算から、億七千数百万の出費となったとのことである。片貝では、天の恵み?の有効活用の知恵を探している。

二十一世紀の新春を迎え 新年会盛大に開催

平成13年1月28日
かんぽヘルスプラザ

新年祝賀会は前日の大雪も上がり快晴の中で開催された。
今回は会員74名に、故郷から、吉井協議会会長、浅田同窓会会長、名塚伝統芸能保存会事務局長をお迎えし盛大に挙行された。



開会の辞に続いて、阿部会長の挨拶では、来賓への感謝と紹介、「まつりはんてん」の写真展示と県人会のオケサートの紹介があった。



母校を励ます会から、近況と、今までの講師へ記念品が贈呈され、講演会は今後も続けたい旨報告された。会計報告が新野担当からあり、片貝のご来賓の挨拶で「片貝の近況報告と今後更に協力しあい、片貝を愛している」とお話が合った。
相崎勇次氏の乾杯の後、懇親会に入った。今回は県人会のオケサートに特別出演して頂いた。日本舞踊カラオケと盛り上がり、全員で木遣りの合唱、万歳三唱を行い、最後に佐藤副会長から「母校の生徒を励まして」と挨拶があり、幕となった。

新年会出席者名(敬称略)

- 〔昭和21〕 相崎勇次、小川茂雄、山口ヨシ、芋川とし、黒崎孝造、佐藤彦一、小宮良夫
- 〔昭和11〕 佐藤ヨシ、太刀川善蔵、阿部源、山口吉五郎、大矢常吉、山田松次郎、山田チエ、松下利夫、小嶋京子、丸山礼子、深松サダ、山口光男、佐藤昭六、小宮幸雄、小宮武夫、吉原俊六、西山和子、上田益美、氣田登美、星シズ、石井ユリ、江澤キヨ、浅田栄三、五十嵐貞雄
- 〔昭和21〕 吉原三代治、安達弘男、山口明男、黒崎晴郎、新野次朗、安達和三、神林勝夫、阿部修次、佐藤安治、清水敏雄、高野賢、黒崎正、大塚順一、佐藤孝二、忍足良子、神林佳子、小宮トシエ、中村恵美子、小野塚茂、石上俊夫、青木マツエ、横尾ミチエ、石川春子、松川セイ、佐藤祐三、黒崎勝、吉原宏、木下伸、安達弘之
- 〔昭和31〕 大塚国夫、小宮善興、芝満雄、大矢佐和子、黒瀬良子、藤原慎平、石和子、安達弘之、本田芝美、吉原敏明、寺町明美、内藤富美子、〔ゲスト〕 山田純夫
- 〔来賓〕 協議会会長 吉井陽、中学同窓会会長 浅田正平、伝統芸能事務局長 名塚孝一
- 〔二祝儀〕 二寄付 お礼
- 〔一祝儀〕 一寄付 頂きました。有り難うございました。
- 〔二祝儀〕 吉井 陽、浅田正平、名塚孝一
- 〔一寄付〕 相崎勇次、日下部政子、黒崎孝造、小宮繁雄、上田武雄、五十嵐貞雄、阿部修次、新野次朗、大塚順一、青木マツエ

会員短信

新年会の案内のお返事で出席できない方々から便りを頂きました。是非、次回の会へのご出席をお待ちしています。一部を紹介いたします。

(敬称略、順不同)

早川松太郎 (昭2卒)

「新年会かけて祝うや八十六」
「欲しくない年が又増え」
お正月

白勢 桜子 (昭10卒)

年老いてからお仲間に入れた。何回も読ませて頂きました。何回も読んで頂きます。

関 冴子 (昭16卒)

会報ありがとうございます。何回も読んで頂きます。

川合 ツヤ (昭21卒)

生きてます
元気で

岩片智恵子 (昭16卒)

同じ日、西新井老人会の新年会があり、役員なので誠に残念です。

三重堀 清 (昭20卒)

10月2・6日左眼を長時間の回復が悪く視力は良いのですが、いまだに通院治療中ですので残念ですが欠席させていただきます。

相崎トミ代 (昭21卒)

この所、ますます元気で脂肪肥りが気になる今日、この頃です。

野崎真知子 (昭29卒)

お祭りには、還暦で花火をあげます。故郷に感謝しています。

浅田 俊夫 (昭37卒)

この十月に、魚沼病院にて父、逝去。80才。

東京片貝会俳壇

ふるさは吹雪の中に
今もあり

雪車

松三日行く当てなしに
袴着て

雪車

おふくろの味雑炊の
てんこ盛り

雪車

打ち返す波変わらずに
年新た

芳泉

春近し襟元過ぐる
風ほのと

芳泉

ほろよ降る路地の奥まで
冬始め

芳泉

【住所表示変更】

- 昭和19年卒 佐藤昭六 文京区本郷1-30-5 TEL 03-3812-7901
- 昭和20年卒 五十嵐貞雄 〒121-0051 足立区神明2-5-2
- 神明2丁目アパート203 TEL 03-3606-0247
- 昭和26年卒 本田善一 〒213-0022 川崎市高津区千手685-1-703
- TEL 044-797-2143
- 昭和22年卒 黒崎晴郎 〒251-0032 藤沢市片瀬1-2-30-108 TEL 0466-25-1719
- 昭和32年卒 山口 武・タミ子 〒300-1236 牛久市田宮2-12-5 TEL 0298-30-7588

【御逝去】

謹んで哀悼の意を表します

平成12年9月4日 永井

平成13年1月4日 丸山弘弥

平成13年2月17日 平沢佐和

昭和4年卒

母校を励ます会・報告

温かいご支援ありがとうございます

母校を励ます会は、皆様の温かいご支援を頂き、小・中学校への図書券の贈呈と同窓生による講演会の開催を行っています。今後とも、温かい母校への励ましを宜しくお願い申し上げます。活動に関するご提案もお待ちしております。

片貝中学校購入図書

館岡校長先生から購入図書のお便りを頂いています。

三学校の図書館もお陰様で充実してまいりました。今後とも、より一層、教育の向上と発展に努めてまいります。

「環境破壊地球」など六十二冊の図書を購入されました。

第19回

母校を励ます会講演会

講師(内定) お知らせ

山口 早苗氏(にれ会)

小千谷市鴻巣在住

〔母校を励ます会基金協力者氏名〕

(敬称略・順不同)

〔昭和21〕

相崎勇次、小川茂雄、宇川とし、黒崎孝造、小宮良夫、小宮繁雄

〔昭和21〕

松下利夫、浅田栄三、小宮幸雄、山口光雄

〔昭和21〕

安達和三、安達弘男、阿部修次、新柳泰朗、神林勝夫、吉原三代治、青柳泰子、忍足良子、黒崎正、佐藤孝二、小野塚茂、中村恵美子、青木マツエ、石上俊夫、新沢須美、石川春子、佐藤祐三、黒崎勝、吉原宏

〔昭和31〕

大塚国夫、小野塚清、黒瀬良子、小宮善興、芝満男、平石和子、藤塚悟、高波国男、本田秀幸、芝強、内藤富美子

前年度繰越			
内訳(定額貯金)	780,000	図書費	200,000
郵便貯金)	337,950	講演費	20,000
基金協力(90名)	213,500	交通費	30,000
郵便貯金受取利息	197	雑費	19,500
収入合計	1,331,647	支出合計	269,500
		次年度繰越	1,062,147
		内訳(定額貯金)	780,000
		郵便貯金)	282,147
	1,331,647		1,331,647
基金協力(員1792名)	寄付図書(18冊)	4,000,000	0.00
5,242,200	講演会(17回)	230,000	
寄付	会費補助	35,000	
262,972	印刷・郵券	82,684	
	交通費	105,000	
	事務費	9,738	
	雑費	19,500	
	監査費	103	
収入合計	支出合計	4,478,025	
5,540,172	次年度繰越	1,062,147	
	内訳(定額貯金)	780,000	
	郵便貯金)	282,147	
		5,540,172	

第八回じよんのびの旅

熱海温泉〜初島

4月14日 15日

東京駅集合組と現地直行組が夕方五時、熱海の宿に全員顔を合わせた。息ついてから、夕日に赤く染まる空と海を見渡せる温泉に入り、初島を見ながら

あーじよんのびだー



翌朝は曇、つない晴天、朝日も眩しく、熱海港より初島に向かう。船の甲板より眺める熱海の街、そしてだんだん姿を見せる残雪豊かな富士山。青い海と富士山のコントラストはすばらしいばかり、見惚れている内に汽笛と共に初島到着。島内のあちこちを散策した後、お昼はパーベキユーに挑戦。前後の酒もなんのそのまとも、山盛りの山海の珍味を焼きつつ海の香りを胸一杯に吸いながら杯を酌み交わし不景気を忘れて盛り上った。

初島三時発、向い風が強くなった海を渡り、熱海駅横の老舗より名物の干物を土産に帰途についた。(阿部 記)

じよんのび会参加者

佐藤彦一 小宮幸雄 神林勝夫
黒崎晴郎 阿部修次 黒崎 正
石上俊夫 藤塚 悟 芝 満男

山口 益宏氏(片貝) 御逝去

山口益宏さんが、三月二十九日、入院先の魚沼病院で御逝去されました。七十才。

元片貝町協議会長、前片貝伝統芸能保存会長として、いづれの立場でも我々東京片貝会が大変お世話になりました。温厚誠実で人間性豊かな山口さんに生前の感謝と共に心から御冥福をお祈り致します。

合掌 阿部修次

佐藤彦一氏 寄贈
郷土遺産

準原本「やせかまど」

前号の会報でお知らせした佐藤彦一氏寄贈の「やせかまど」写本のできた経緯について著します。

「やせかまど」は片貝に残る貴重な江戸時代の文献である。片貝の庄屋・太刀川喜右門が、文化、文政時代を中心に、片貝の年中行事、当時起きたことなどを著したものである。

この地方の近世庶民の生活を知る上で、貴重な文献と高く評価され、大学の講義にも使用されている。

「やせかまど」の原本は、昭和初期に片貝にあったが、現在は所在不明である。写本は、昭和十年前後、当時の村長佐藤国二郎氏が郷土の貴重な資料であることに着目して企画された。写本は、大西光太郎氏により作成された。(佐藤本)この時、新野亮太郎氏が、更に一部写本を依頼し作成された。(新野本)その後、大塚確太郎氏が、新野本を元に、写本を二部作成された。(大塚本)

現存するのは、(佐藤本)(新野本)(大塚本一部)の三部である。(大塚本)は片貝小学校(後に公民館)へ寄贈された。(新野本)

残る一部が、今回東京片貝会へ寄贈された(佐藤本)である。佐藤彦一氏は同、郎氏の息子さんであり、(佐藤本)を大事に保管されていた。

「写本」やせかまど」は本当に重要な文献であり、写本の筆頭であることが解る。

今後は、学術的研究者などへの貸し出しのみとし、将来を考慮し保管の在り方は会のテーマとしていきたい。

(参考)やせかまどと解説編 小千谷新聞 佐藤彦一氏談

片貝中学校同窓会会報 発行される

同窓会の会報が平成十三年一月創刊された。会報の名称は「窓友」で、一致団結し、新しい時代の新しい町造りに力を

合わせようと呼び掛けている。同窓会の一層の絆が期待される。

窓友

町造りに力を合わせようと

はるかなる・は・今

H12年12月から
H13年5月まで

母校近況

■小学校

ミニバス中越大会優勝

第15会中越地区ミニバスケットボール大会兼BSN杯県予選会が11月25・26日開催された。片貝スパボーイズは参加22チームの中で見事優勝を果たした。県大会では健闘むなしく二回戦で敗れた。

県ジュニア美術展で入賞

第31回新潟県ジュニア美術展覧会の入賞作品が発表され奨励賞を、吉原奨也くん、阿部麻鈴さんが受賞した。また片貝保育園の二人も優秀賞、奨励賞を受賞した。

「読み聞かせ会」活躍

片貝のボランティア活動の一環である「読み聞かせ会」は、昭和63年から始まり、小学校低学年を対象に絵本や紙芝居の読み聞かせを実施している。3月には、今の歌「おはなしきこう」を披露、毎月数回、会を開催している。

ピカピカの一年生が入学

小学校では、4月6日入学式を行った。今年の一年生は男子18名、女子27名の計45名。昨年より5名多いが少子社会が続いている。市内では、30人学級の導入により、5クラスの増となっている。

■中学校

バスケット大会頑張る

三条バスケットボール大会は2月4日、男子12チームが参加して開催された。熱戦が繰り広げられたが、片中は優勝し、第一回大会から4年連続制覇の快挙を達成した。

親善長岡大会では、決勝で惜しくも小千谷中に敗れ準優勝となった。

エレクトーン関東大会で銀賞

jet全日本エレクトーン指導者協会が開催する関東大会で、県代表8名の中に選ばれて出場の山口友恵理さん(町裏)が課題曲で銀賞を受賞した。

片貝中同窓会入会式

片貝中学校同窓会の入会式が3月2日開催された。今年新会員になったのは、58名(男34名、女24名)で会名は「愛泉会」と名付けられた。宮島損害保険サービス社長の講話、誓いの言葉のあと、毎年恒例の正調木遣りの指導を受けた。

片貝中学校校長替わる

着任：山田俊夫校長(南魚沼 大和中教頭)
転出：館岡信男前校長(見附中学校)
ありがとうございました。

EOPIPIPIU

JAH12年度 十大ニュース

毎年恒例となった十大ニュースが大晦日に発表になった。片貝でこんなことが起きているのか解りやすい。

- ① JAH片貝町低温倉庫並びに大豆乾燥調整設備の完成。
- ② 片貝中・千田中がセンター方式で給食開始される。
- ③ 左岸南部片貝生産組合が農林水産省農産園芸局長賞を受賞される。
- ④ 片貝病院が2月より開院。
- ⑤ 千田中プール完成。
- ⑥ 忍字亭の利用高まり、通年解放される。
- ⑦ 鴻巣地区に全線消雪パイプ施設が完了する。
- ⑧ 片貝商工振興会が「ふるさとカレンダー」制作。
- ⑨ 川上東陽氏が小千谷土地改良区理事長に就任される。
- ⑩ 寺町会館完成。

新世紀二年語り

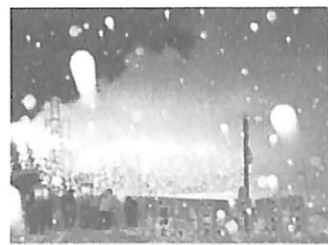
浅原神社ホクホク 浅原神社は晦日に花火を上げることで参拝者も多く、本年は約三千人で、賽銭や縁起物の売れ行きは昨年をアップした。



昭38豪雪 狒犬

寒の神行事盛大に

十五日浅原神社をメイン会場に、昼夜にわたり多彩な催しが行われた。特に夜の部は福もちまき、仕掛花火、スターマインなどの花火とともに点火された直径10mの大寒の神と盛大に行われた。



各クラスの御柱のバックに上がる仕掛け花火。

米寿の皆さんおめでとう

JAH片貝町では大正3年生、これまで今年米寿を迎えたJAH片貝町管内の三十二名にお祝い状と金杯、それにお菓子を本人に届け長寿を祝った。

- 片貝：男11名、女17名
- 高梨：男2名、女2名

片貝町の人口(国勢調査)

人口はH12年10月の国勢調査、その他はH12年4月現在。

	H12	H11
所帯数	1,530	1,541
人口	6,290	5,886
男	3,090	2,918
女	3,200	2,968
老人1人		47所帯
老人のみ		74所帯
老人と2人		39所帯

清酒品評会 一位 吉乃川

第42回自醸清酒品評会(小千谷市酒造杜氏組合主催)が片貝公民館で開催され、高野與さん(山屋)が造った吉乃川が最高賞の市長賞に輝いた。二位「鶴齢」三位「米百俵」。

お年寄り連先生が民具の授業

片貝小の3年生55名は、1月30・31の両日、お年寄りを招き同校の博物館で民具学習会を実施した。熱心な子供達の様子に、縄ない、脱穀や糸車など実演を交えて説明した。



協議会長に川上氏就任

片貝町協議会総会が開催され、新しい会長に鴻巣の川上東陽氏が満場一致で決まった。吉井陽前会長は平成7年に就任して6年間、片貝のために尽力された。東京片貝会を大変大事にされご指導ご鞭撻を頂きました。



川上東陽氏

還暦新辰巳会

保育園へカーテン贈る 新辰巳会は還暦の豪華な花火を上げたが、記念行事の環として、片貝保育園に15万相当のステージカーテンを寄贈した。

小千谷高校定時制 最後の卒業生

小千谷高校定時制は、昭和23年全日制と併設で創設された片貝と小出に分校が置かれた片貝分校は昭和46年に停止された。53年間で二千六百六十五名の卒業生を輩出した。

北銀百周年おめでとう

北越銀行片貝支店では百周年感謝デーの3月15日に同銀行を訪れた先着五百五十名の人たちに「紅白まんじゅう」をプレゼントした。この他多彩なイベントがあり、学校への図書券の贈呈、「片貝の歴史展」などが催された。

あとかぎ

昭38年豪雪、滝谷で雪中泊長岡峠由で4米の雪の中を歩いて帰りました。

今年も片貝の城跡で

頂いた春蘭、狸々袴が咲きました。北国の春は素晴らしい。(小宮)

